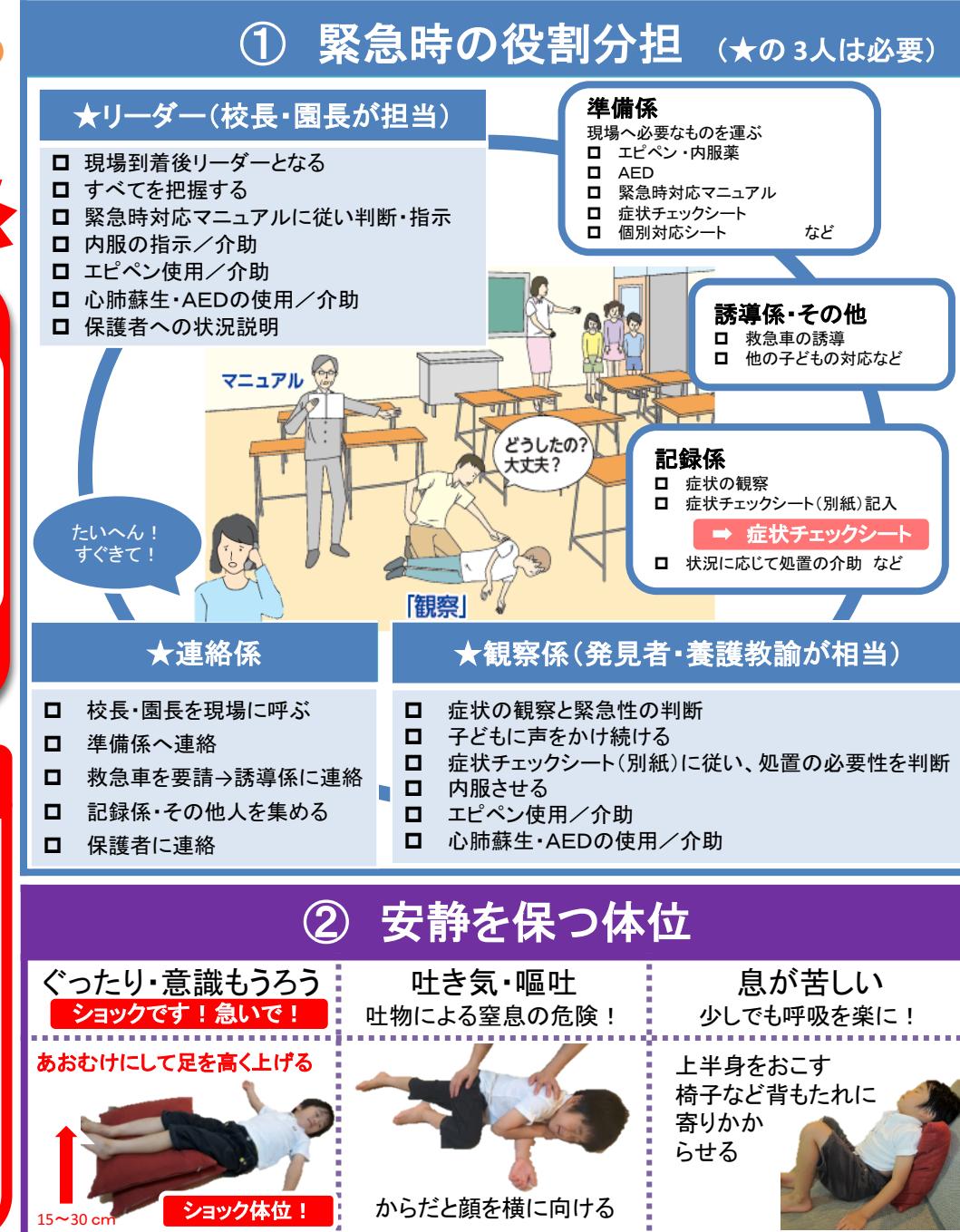
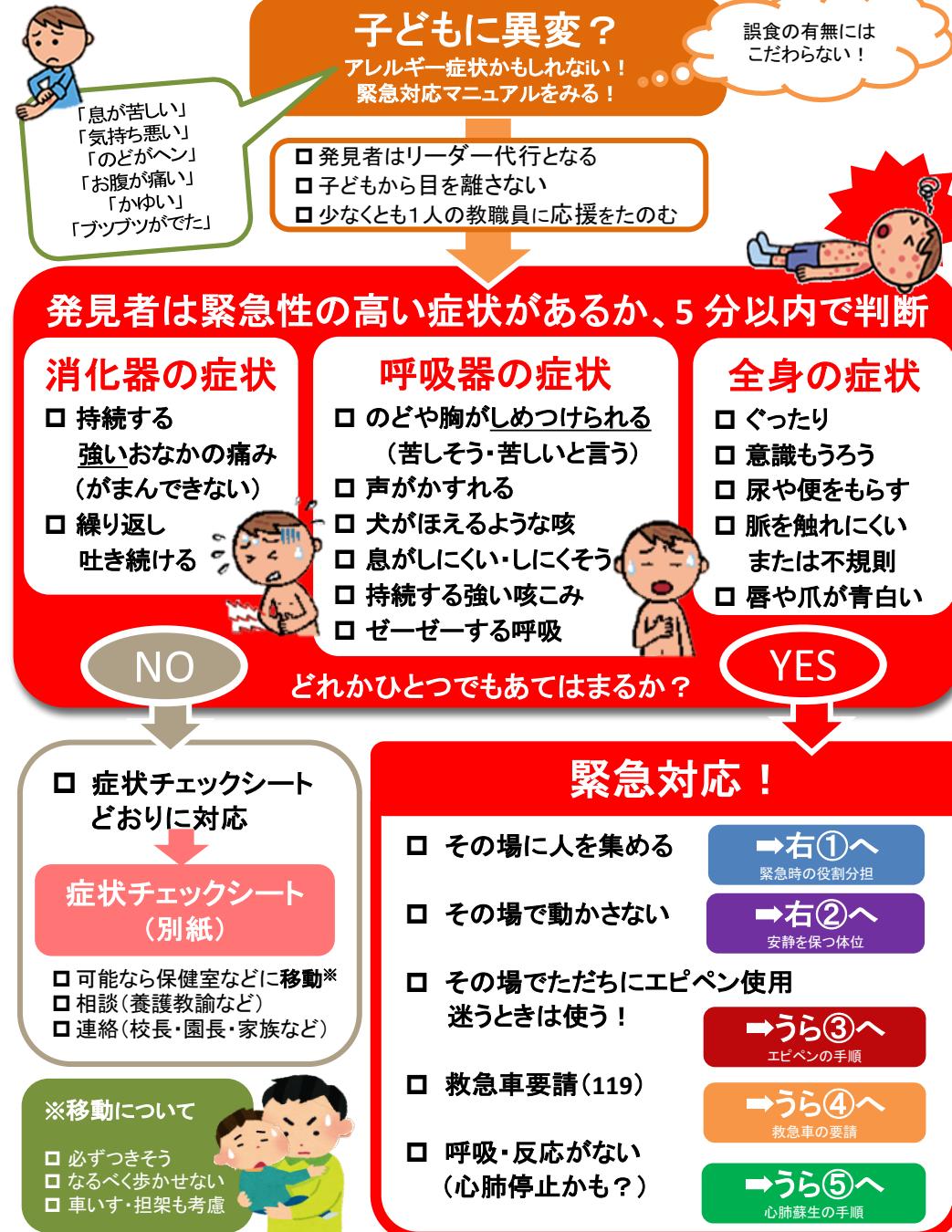




このマニュアルの使い方
Youtubeで確認（14分）

アレルギー緊急時対応マニュアル

事業主・制作：香川県小児科医会
協賛：香川県医師会、日本小児科学会香川地方会
平成29年度改訂





エピペンの使い方動画
(Youtube)で確認できます(1分)

③ エピペンの手順

子どもに声をかけながら、できるだけたくさんの人で対応しましょう

① エピペンを打ちやすい体勢をとる

- ゆっくりあおむけにする
 - エピペン使用者は、子どもの脇に座る
 - 介助者は、子どもをはさんで使用者とむかいあわせになる
 - 介助者は、子どもの足のつけねと膝をおさえる
- ※もう1人介助者がいれば上半身をおさえる



ショック体位でもOK

② エピペンをケースから取り出して きき手で「グー握り」する

- オレンジ色を下にして握る
- 親指はそえない
- 握ったら持ちかえない



③ エピペンを打つ位置を確認

介助者がおさえている太ももの
前面、中央、外側
介助者の両手の中央 ★ がめやす

- 服の上からでもOK
- ポケットの中が空であることを確認



④ エピペンを打つ

- 安全キャップ(青色)を上に引き抜く
- 先端(オレンジ色)を目標に軽くあてる
- 子どもに声をかける:「エピペンをするよ！じっとしてね！」
- そのまま垂直にグッと押しつける
- 「パン！」と音がしたら投与完了・そのまま3秒待つ
※音がない場合はもう一度グッと押しつける
- エピペンを太ももからゆっくり離し、注射部位を軽くもむ
- オレンジ色のニードルカバーが伸びていることを確認



⑤ その後

- 通常 15分以内に楽になる(効果は約15分持続)
- 元気になっても動かさない、観察を継続
- 使用済みエピペンはケースに入れ病院へ
- (2本目のエピペンがある場合)

10分後にも「緊急性の高い症状」があれば
2本目のエピペンを使用(どちらの足でもよい)



④ 救急車の要請 (119番通報)

個別対応シートを見ながら伝える



「アナフィラキシーでの救急要請です！」

□ 施設名、電話番号、住所 ※事前に記入しておく

施設名	
電話番号	
住所	

- 子どもの名前、性別、年齢
 - 現在の状況(原因がわかられば伝える)
 - エピペンの有無、使用したかしていないか
 - 私(通報者)の名前、携帯電話番号※
- ※その後も救急隊とすぐ連絡が取れるようにしておく

⑤ 心肺蘇生の手順

1 反応の確認

反応がない

- 肩を叩いて大声で呼びかける

同時に

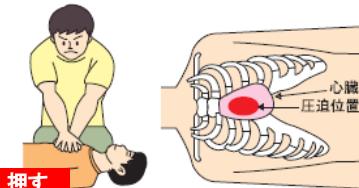
2 救急要請 119番

- AEDの手配
- 人を集めめる

3 呼吸の確認

普段通りの呼吸をしていない

- 胸とお腹の動きを見る
- 10秒以内に判断



4 胸骨圧迫 必ず

人工呼吸
可能なら

- 胸の真ん中を両手で圧迫
- 強く(胸の厚さの約1/3)
- 速く 1分あたり100回 押す
- 絶え間なく(中断は最小限に)



5 AED

このマニュアルは東京都および名古屋市発行の食物アレルギー緊急時対応マニュアルを参考に
香川県小児科医会食物アレルギー対策委員会が作成し、H29年度改訂しました。